



葉山町

議会だより

発行 葉山町議会 神奈川県三浦郡葉山町堀内2135番地 046-876-1111
編集 議会広報特別委員会 発行日 平成24年4月30日

No.

108

第1回(3月)定例会

- 平成24年度予算関連記事…………… 2～6ページ
- 委員会レポート…………… 12～13ページ
- 一般質問(12人登壇)…………… 14～19ページ



平成24年度一般会計予算及び 4 特別会計予算を可決 総額168億8,185万5,000円



第1回定例会を2月14日から3月14日まで開催しました。新町長が所信表明を行い、平成24年度一般会計と国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・下水道事業の4特別会計の予算をはじめ、23年度の補正予算等、24件の議案を審議しました。

平成24年度予算は8人の議員が総括質問を行ったのち、予算特別委員会を設置・付託し、笠原俊一予算特別委員長のもと、鈴木道子、窪田美樹、中村文彦、長塚かおる、横山すみ子の各委員が慎重に審査いたしました。

審査の結果、一般会計は全会一致で、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、下水道事業の各特別会計は、賛成多数で可決しました。本会議において報告し、同様の結果となりました。

(詳細は5～6ページ)

平成23年度補正予算6件は全会一致で可決しました。(詳細は7ページ)

一般質問では12人の議員が当面する行政の課題をただしました。(詳細は14～19ページ)

平成24年度 各会計予算規模

(単位：千円)

会 計 名		本年度予算額	前年度予算額	比 較 増 減	伸率(%)
一 般 会 計		8,748,000	8,998,900	△250,900	△2.8
特 別 会 計	国民健康保険	3,734,419	3,537,501	196,918	5.6
	後期高齢者医療	765,928	681,652	84,276	12.4
	介 護 保 険	2,442,188	2,341,882	100,306	4.3
	下 水 道 事 業	1,191,320	1,235,699	△44,379	△3.6
	小 計	8,133,855	7,796,734	337,121	4.3
合 計		16,881,855	16,795,634	86,221	0.5

町民一人あたりの町税額 16万1,962円

町税54億6,104万2,000円／人口3万3,718人
(平成24年1月1日現在 住民基本台帳人口)



委員会審査風景

予算審議総括質問

こんな点が気がり

質問者の提出原稿を基に編集しています

2月20・21日、24**年度予算に対し総括
質問を8人の議員が
行いました。****守屋 巨弘**
(無所属)**問** 財政再建策の中での
人件費見直しについて。
町長 財政の健全化は私
のマニフェストで掲げた
5つの柱の一番最初にあ
り、その中でも人件費削
減は最重要課題だ。町長
など特別職が20%、幹部
職員でも5〜10%の給与
抑制を断行するとした。
財政の健全化のためには、
人件費の削減は避けて通
れないものだ。**問** マニフェストには、
年間5千万円の人件費削
減とあるが、地域手当の
町の支給率10%を国の定
める支給率6%に改めれ
ば達成可能だ。町が4%
上乗せして支給している
ため、特別交付税が平成
18年度から同22年度まで
に4100万円減額された。地域手当については。
町長 それ以前に、なぜ
そもそも葉山町の人件費
が高いのかという構造的
な問題がある。職員とよ
く話し合いの上で、6月
には結論を出したい。**窪田 美樹**
(日本共産党)**問** 小児医療費補助制度
の拡大は。
町長 医療費補助だけが
子育て環境の向上とは言
えない。医療にかからな
くても病気を治す事がで
きる方策も行政の施策だ。
問 待機児童解消施策は。
町長 毎年ゼロが望まし
い。財源的裏付けを持ち
様々な方法を精査する。**問** 学校設備補修計画は。
教育部長 延命を図りな
がら優先順位を考え補修
していく。**問** 「教育総合プラン」
に基づく長期的な計画を
持つことが大事では。
教育部長 具体的な計画
については今後の課題だ。
問 施設に頼らない介護保険事業計画の考えは。
町長 若年層のリハビリ
事業も葉山ならではの支
援サービスである。
問 来年、国保料が旧た
だし書き方式に変更され
保険料が引き上げられる
が激変緩和措置は。
町長 財源に配慮し、今
後十分に検討したい。**待寺 真司**
(無所属)**問** 選挙公約や所信表明
に込めた、葉山町の将来
像について考えを伺う。
町長 人口規模は現状が
妥当である。新たな開発
は可能な限り抑制する。
公共課題の解決機関とし
て、行政が日頃から住民
に寄り添う姿勢を持ち、
町民の皆様と語り合える
葉山の土壌を、将来にわ
たり必ず守り続けたい。**問** 選挙公約で掲げた事
業の優先順位、事業実施
期限、予算措置など詳細
なものを、改めて町民に
示す必要があると思うが。
町長 安全・安心に関することは、優先順位は高
いと言える。個別具体で
は子育て支援・福祉政策
の充実が大事だ。ただ、
まずは財源を確保し、当
たり前と言われているこ
とを穴埋めしていきたい。
問 公約実現へは総合計
画への落とし込みが必要。
町長 遅くとも9月には
後期基本計画を示す。公
約の具体については実施
計画にきっちり反映する。**金崎 ひさ**
(新葉クラブ)**問** 第3次総合計画後期
基本計画の見直しは。
町長 マニフェストを反
映し精査の上市す。
問 合併浄化槽設置整備
補助事業の今後の方針は。
町長 公共下水道事業を
スローダウンする一方、
市街地調整区域は新事業
として市町村管理型の合
併浄化槽を進めたい。**問** 公共下水道事業面整
備を町長査定で9haから
7haに引下げ4100万
円の縮減を図ったのか。**町長** 財政的負担を最大
限に考慮した。
問 ごみの資源化減量化
について。
町長 4年間で22年度比
30%の減量を目指し、戸
別収集と資源ステーション
の2点セットで行う。**問** 人件費の削減は。
町長 5千万円／年と
し、方策は6月に示す。**問** 国民健康保険料軽減
のための方策は。
町長 少なくとも前年と
同じ1億円の繰り入れを
行っていくたい。**笠原 俊一**
(尚政会)**問** 最上位計画の第3次
総合計画後期基本計画は、
本来であれば4月1日か
ら始まる。マニフェスト
と本計画のすり合わせが
必要だが、所信表明に触
れない理由と議会未上程
はなぜか。また、ごみ処
理基本計画や下水道計画
の見直しが必要と思う
が、この上位計画である
基本計画や実施計画が無

くとも良いのか。

町長 22年度に1回、23年度に5回の審議会を開催し、昨年11月21日に答申をいただいた。今後、

基本計画へのマネフェストの反映と、予算との連動性を含め精査し、第2回定例会以降での議案上程を目指す。

総務部長 過去に一時期、空白が生じた。正しい事では無いがこうした状況が起きる事もある。

町長 首長任期に合わせる検討や実施計画の2年ローリング等、実勢に沿う計画を提案したい。

長塚かおる

(無所属)

問 児童・生徒の心理的問題や不登校対応並びに予防対策について。

教育長 早期発見・早期対応を心がけ、学校を基本として、心の教室相談員やスクールカウンセラーを派遣し、校外では教育相談所や教育支援センターが対応していく。

問 中学1年生の暴力行為、いじめ件数や不登校生徒が大幅に増えているが、その対処は。

教育長 葉山町独自のものとして、基礎学力の向上及び安定した情緒のもとで子供たちの成長を図るために、インテリジェントティーチャーを配置。

小学校と中学校両校で教壇に立ち見守っていく。
問 青少年育成事業について。

教育長 豊かな人間性や社会性を育成する目的で、ジュニアキャンプや自然観察隊などの体験活動を行い、成果は、ジュニアリーダーズクラブの活発な活動につながっている。

近藤 昇一

(日本共産党)

問 地域経済活性化のため、住宅リフォーム助成制度継続の考えは。

町長 要綱では前町長の任期までとなっていたが、平成24年度も継続する。
問 公契約に係る業務に

従事する労働者の適正な労働条件を確保する公契約条例制定の考えは。

町長 検討を続けたい。

問 葉山町の地域防災計画についての考えは。

町長 県の地域防災計画を踏まえ当町にあった計画を24年度には策定する。
問 防災無線の難聴地域対策は。

町長 重要な課題と認識している。優先順位を上げて取り組む。

問 県下最低の整備率である消防職員体制についての考えは。

町長 町全体の職員定数及び財政状況等を考慮し、総合的に判断し、適正な消防職員定数となるよう努力する。

問 自治基本条例は。

町長 慎重に検討したい。

鈴木 道子

(公明党)

問 8項目を課題としてとらえたが、その中から予防医療施策と子育て支援施策について伺う。

町長 ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン公費負担については平成24年度も継続する。子宮頸がんワクチンは新たに中学1年生を対象に入れて実施する。インフルエンザ対策は65才以上に予防接種補助を継続する。

問 高齢者の肺炎球菌ワクチン接種助成を早急に実施すべきだがどうか。

町長 6月までにしっかりと検討を重ねる。

問 子育て支援は産みやすい、育てやすい環境を作ることで、予防医療の視点からも小児医療費無料化等の支援があるが、見解を伺う。

町長 行政の子育て支援を改めて見直し、様々な方策を同時に検討していく。小児医療費については、あくまで小学6年生までを目指していく。

町長行政報告

(1千万円以上
5千万円未満の契約)

1502万5500円
③ 葉山町道1187号
線道路整備工事
1743万円

① 下山川支流柳作川河川整備工事
1006万9815円
工事(その5)
1538万2500円

② 葉山処理区(一色)枝線築造工事(その7)
4813万2千円
⑤ 青少年会館建設工事



建て替え中の青少年会館

予算特別委員会の審査報告

2月22日から3月2日までの間に、現地調査を含め関係部課長等の説明及び資料の提出を求め、

校6年生までの無料化に向けての取り組みについて。

要望

整備について再検討されたい。
6 葉山産の農水産物等の宣伝を積極的に行い、町の活性化を図られたい。

意見

5 住宅リフォーム資金助成と他の助成制度との併用を研究されたい。

細部にわたり審査を行いました。審査最終日には、

6 ゼロ・ウェイスト推進事業と資源化・減量化推進事業との違いは

町長に対して10項目、教育長に対して町長と共通

7 国民健康保険料を逗子市並みにする方策について。

の3項目の質問を行い、委員会の意思を決定しました。

4 新築の場合も合併処理浄化槽の補助対象とされたい。

1 国民健康保険料の負担軽減に努められたい。

7 幼稚園就園奨励費補助制度の充実を図られたい。

11 インテリジェント・ティーチャーの充実を図られたい。

2 早急に消防力の強化を図られたい。

町長質問事項

1 平成24年度一般会計6月補正予算の財政処

1 南郷上ノ山公園のテナスコートの無料化について。

5 街路灯については、明るさや必要性などを考慮し、震災を踏まえ

10 しおさい公園・博物館の来園者の増加施策及び教育現場での活用を一層図られたい。

指摘

置はどのように考えているか。

2 しおさい公園・博物館の来園者増加施策及び教育での活用等について。

1 老朽化に伴う町公共施設の改修計画を策定し計画的に修繕するべきである。

1 福祉文化会館の利用を増やすための施策を検討すべきである。

4 AEDの設置・維持管理・使用状況等一元的に把握するセクション又はシステムが必要である。

5 下水道事業については、事業計画等をより明確に説明されたい。

2 防災体制をどのように考えているか。

3 幼稚園就園奨励補助金の基本的考え方について。

2 福祉文化会館の利用を増やすための施策を検討すべきである。

6 交通指導員を補充するとともに、町内会等地域住民の協力のもと、交通安全・防犯対策を図られたい。

2 文化公演事業、「輝け若き演奏家たち」の演奏会は継続して実施すべきである。

7 ふれあい座談会のような事業は継続して実施すべきである。

3 消防力強化（分署の設置、消防職員充足率、消防団員の増強等）について。

3 文化公演事業、「輝け若き演奏家たち」の演奏会は継続して実施すべきである。

4 南郷上ノ山公園に設置した券売機の有効活用を図るべきである。

4 南郷上ノ山公園に設置した券売機の有効活用を図るべきである。

4 南郷上ノ山公園に設置した券売機の有効活用を図るべきである。

4 南郷上ノ山公園に設置した券売機の有効活用を図るべきである。

審査結果

4 総合計画審議会を1回分のみの予算計上とした理由について。

審査の中で議論され、特に抽出された要望・指摘・意見は次のとおりです。

審査の中で議論され、特に抽出された要望・指摘・意見は次のとおりです。

審査の中で議論され、特に抽出された要望・指摘・意見は次のとおりです。

審査の中で議論され、特に抽出された要望・指摘・意見は次のとおりです。

審査の中で議論され、特に抽出された要望・指摘・意見は次のとおりです。

5 小児医療助成の小学

摘・意見は次のとおりです。



あじさい公園 園路



輝け若き演奏家たち

平成24年度の予算審議結果

窪田美樹議員、守屋亘弘議員、土佐洋子議員及び横山すみ子議員が討論を行いました。

主な討論内容

賛成

◎一般会計

- ・骨格予算であるからやむを得ない。
- ・防災組織・防災資機材購入補助金の復活。
- ・芝崎のナチュラルリザーブパトロールのためのアルバイト員雇用の復活。
- ・政策的なものが入っていないので評価しにくい面があり、6月補正に期待する。
- ・住宅リフォーム助成制度が継続されている。
- ・ごみの減量計画として戸別収集と資源回収の2点を挙げている。
- ・「広報はやま」が表紙・裏表紙等8ページが4色刷りとなる。
- ・心身障害者歯科診療推進対策事業負担が利用実績ベースで見直し、大幅削減できている。
- ・手話奉仕員養成講座開催事業予算が伸びている。
- ・町長マニフェストと総合計画との整合性を十分に精査されるものとする。
- ・市町村型の合併浄化槽設置について積極的な町長答弁があったこと。

◎介護保険特別会計

- ・保険料の見直しは制度の維持のため、やむを得ないと判断。
- ・一部分必要な制度であると考えている。

反対

◎国民健康保険特別会計

- ・保険料引き下げのための繰入額が不十分。
- ・保険料を逗子市並みにする考えが町長にない。

◎後期高齢者医療特別会計

- ・制度そのものに反対。

◎介護保険特別会計

- ・低所得者への配慮をもっとすべき。
- ・保険料の軽減を図るべき。
- ・保険料の軽減に充てるため、財政安定基金をできる限り取り崩すべき。

◎下水道事業特別会計

- ・下水道債が1億2千万円という予算付けは、マニフェストを無視している。
- ・他会計は、減額されているにも関わらず、この会計は減額されていない。
- ・下水道整備をスピードダウンした分、合併浄化槽の導入のための補助金制度の適用の推進などに取り組むべき。
- ・面整備をゼロにする判断もあったはず。すると計画を進めることが、町民のためになるのかどうか考えるべき。

予算審議に要した日数

6日間

各会計別予算の結果

- ◎一般会計 全会一致
- ◎国民健康保険特別会計 賛成多数
- ◎後期高齢者医療特別会計 賛成多数
- ◎介護保険特別会計 賛成多数
- ◎下水道事業特別会計 賛成多数

可決



いろいろなことが決まりました

◎平成23年度葉山町一般会計補正予算(第7号) (第3号)

平成22年度給付費負担金額が確定したことにより、ゼロ・ウェイスト推進事業の指定袋制、戸別収集及び資源ステーションの全町実施を行わなかったこと等により、376万9千円を減額し、総額93億404万8千円とするものです。

◎平成23年度葉山町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

療養費等が当初見込みを上回ったことにより、475万9千800円を追加し、総額37億83万2千円とするものです。

◎平成23年度葉山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)

療養給付費等が当初見込みを上回ったことにより、794万9千円を追加し、7億277万6千円とするものです。

◎平成23年度葉山町介護保険特別会計補正予算(第3号)

療養給付費等が当初見込みを上回ったことにより、794万9千円を追加し、7億277万6千円とするものです。

◎平成23年度葉山町介護保険特別会計補正予算(第3号)

療養給付費等が当初見込みを上回ったことにより、794万9千円を追加し、7億277万6千円とするものです。

◎平成23年度葉山町介護保険特別会計補正予算(第3号)

療養給付費等が当初見込みを上回ったことにより、794万9千円を追加し、7億277万6千円とするものです。

◎葉山町営住宅条例の一部を改正する条例

公営住宅法施行令の改正に伴うものです。

◎葉山町手数料条例の一部を改正する条例

「危険物の規則に関する政令の一部を改正する政令」において「地方公共団体の手数料の標準に関する政令」が一部改正されたための改正です。

◎葉山町火災予防条例の一部を改正する条例

「危険物の規制に関する政令の一部を改正する政令」が施行されることに伴うものです。

◎葉山町子育て支援事業基金条例

青少年会館の建て替え等に交付された800万円を適正な管理運用を行うため基金を設置し、25年3月31日で効力を失います。

◎葉山町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例

地域福祉計画策定委員会及び健康増進計画・食育推進計画策定委員会の2機関を新たに設置するものです。

◎葉山町社会教育条例の一部を改正する条例

社会教育法の改正に伴うものです。

◎町道の廃止について

町道409号線を廃止するものです。

◎附帯控訴の提起について

ごみ裁判において横須賀・三浦両市が第1審判決を不服として控訴したことから、本町も附帯控訴するものです。

◎葉山町議会会議規則の一部を改正する規則

全員協議会を法的に位置づけるものです。

◎農業委員会委員の推薦について

議会推薦の委員に荒井直彦議員を推薦しました。

◎平成23年度葉山町一般会計補正予算(第8号)

第3次総合計画後期基本計画及び実施計画策定業務委託料350万2千円を繰越明許するものです。

◎平成23年度葉山町一般会計補正予算(第8号)

第3次総合計画後期基本計画及び実施計画策定業務委託料350万2千円を繰越明許するものです。

◎平成23年度葉山町一般会計補正予算(第8号)

第3次総合計画後期基本計画及び実施計画策定業務委託料350万2千円を繰越明許するものです。

◎平成23年度葉山町一般会計補正予算(第8号)

第3次総合計画後期基本計画及び実施計画策定業務委託料350万2千円を繰越明許するものです。

◎平成23年度葉山町一般会計補正予算(第8号)

第3次総合計画後期基本計画及び実施計画策定業務委託料350万2千円を繰越明許するものです。

意見書を提出しました

消費税増税に反対する意見書

野田内閣総理大臣は、消費税増税法案を提出し、成立させる方針を打ち出しているが、そもそも消費税は、所得の低い人ほど負担が重い税金である。そのため、ヨーロッパなどでは税収全体に占める消費税の割合は日本とほぼ同じであるが、食料品や生活必需品については、非課税か低い税率とし、負担の軽減を図っている。しかし、日本の消費税は、水や米にも高級品と同じ税率がかかり、重い負担が低所得世帯の生活を直撃している。

また、消費税増税は、震災から生活再建を目指す被災者にとっても過酷な増税である。しかも震災の影響で日本経済の低迷が続く中での消費税増税は、今後の景気回復に致命的な打撃を与えるものであり、税率を3%から5%に上げた際には、景気が急速に冷え込み、倒産や失業者、自殺者の増加を招いたことは過去の教訓となっている。

よって、国におかれては、不要不急の予算を見直し、大企業への行き過ぎた減税を是正するなど、国民の立場に立った財源見直しを追求し、消費税増税を行わないよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年3月14日 葉山町議会

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、社会保障・税一体改革担当大臣

平成23年度補正予算

補正予算質疑

問 子ども手当の、国と地方との負担割合はどのように変わったのか。

なった。負担割合は国が約75%、それ以外については、県・町負担になっている。

問 今後、民生費が非常に伸びてくると予測され

保健福祉部長 当初は国が全額であったが、平成23年に、つなぎ法案や特別措置法により変更にしていく

かなと思うが。
町長 端的にごみ処理政策については、指定袋にかかる経費は設けず、戸別収集及び資源ステーションについては、ごみの減量化という視点で必要と考える。一方で扶助費の高騰については、社会変化の中で対応し、国・県ともに対応を考える課題と認識している。

ら、生ごみ処理機の対応はしないという考えではない。推進していく。
問 ヒブワクチン及び肺炎球菌ワクチン接種が、当初見込みを下回っているが、原因の分析は。

保健福祉部長 接種者が単純に当初見込みを下回った。詳しい原因については調査・報告する。
問 子育て世代が葉山に引っ越して来る時に、どういう問題を抱えているかを分析することが大事だと考えるが。

町長 待機児童の対策など、魅力ある子育て環境がどうあるべきかを、努めて考えていきたい。
問 青少年会館の建設に関して、1回目の入札では、手を挙げた4社すべてが辞退した。2回目では、その内の3社が入札に参加した。何もペナルティーなどないのか。
総務部長 法的な部分に関しては、条例を含めても、一般競争入札の中では、ペナルティーはない。

歳入歳出予算の総額

(単位：千円)

会 計 名	補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
一 般 会 計	9,378,154	△37,669	9,340,485
特 別 会 計	国民健康保険	47,598	3,700,832
	後期高齢者医療	7,949	727,760
	介護保険	2,918	2,362,415
	下水道事業	420	1,244,457
	小 計	58,885	8,035,464
合 計	17,354,733	21,216	17,375,949

問 ごみの指定袋制の導入を中止したことが、何故、生ごみ処理容器の購入件数減少分の更正減につながるのか。
生活環境部長 町としては、指定袋を中止したか

は、生ごみ処理機の対応はしないという考えではない。推進していく。
問 ヒブワクチン及び肺炎球菌ワクチン接種が、当初見込みを下回っているが、原因の分析は。



急がれるボイラーの補修

保健福祉部長 当初は国が全額であったが、平成23年に、つなぎ法案や特別措置法により変更にしていく

保健福祉部長 接種者が単純に当初見込みを下回った。詳しい原因については調査・報告する。
問 子育て世代が葉山に引っ越して来る時に、どういう問題を抱えているかを分析することが大事だと考えるが。

町長 待機児童の対策など、魅力ある子育て環境がどうあるべきかを、努めて考えていきたい。
問 青少年会館の建設に関して、1回目の入札では、手を挙げた4社すべてが辞退した。2回目では、その内の3社が入札に参加した。何もペナルティーなどないのか。
総務部長 法的な部分に関しては、条例を含めても、一般競争入札の中では、ペナルティーはない。

町長 わかりやすい町政運営・情報伝達は、非常に重要な視点だ。予算書については、説明責任を果たす上で十分価値はあるが、事務量とのバランスについて検討する期間
総務部長 5月下旬を予定している。

問 第3次総合計画の後期基本計画策定にかかわる業務委託費の繰越であるが、想定回数と細かい費用配分を示していたいただきたい。
総務部長 審議会への支援が1回含まれている。あと、資料、会議録の作成、パブリックコメント実施の支援がある。印刷のお金については、当初の契約に含まれているため、繰越さない。
問 何人で1回幾らか。
総務部長 審議会への支援は一式として出ている。資料についても同じだ。人数的に何人とは考えていない。

「議会報告会」報告

平成23年11月12日、葉山

ました。

町福祉文化会館にて議会主催で報告会を行い、72人の町民の皆さまにお集まりいただいたことにつきまして、議会だより107号にてお伝えしましたが、議会運営委員会で承認された報告を掲載いたします。

当日は全議員14人が出席し、議会運営委員会委員長の総合司会により、各議員が自己紹介をし、議長からもあいさつがありました。そして「町の現状と議会の動向について」報告を行いました。ごみ問題特別委員会副委員長より「クリーンセンター排水中のダイオキシン類基準値オーバー問題」についてをテーマにパワーポイントを使い説明いたしました。その後、質疑が行われ、ごみ問題特別委員会委員長が議会を代表し回答いたしました。

詳しくは議会ホームページにて、会議の要旨を掲載いたしましたのでご覧ください。



みなさんからの 陳情のゆくえ

- ◎公的年金の改悪に反対する意見書提出を求める陳情.....趣旨了承
 ◎附帯控訴を取りやめて横須賀・三浦両市と和解し近隣自治体との協力を基本とした行政の実現を求める陳情書.....みなし不採択

◆◆◆なお継続して審査します◆◆◆

- ◎「住宅リフォーム資金補助金制度」の事業継続を求める陳情
 ◎小学校 保育園の給食に関する陳情

議会活動日誌

今回は、平成23年第2回臨時会終了以降、平成24年第1回定例会終了までの活動報告をいたします。

20日	14日	9日	6日		31日	30日	23日	20日	12日	5日	1月	21日
議会広報特別委員会	本会議(定例会)	本会議(定例会)	議員懇談会	2月	ごみ問題特別委員会	松川町議会視察	長野県北佐久郡御代田町議会視察	全員協議会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	本会議(定例会)
					広島県安芸郡府中町議会議員視察	長野県下伊那郡	御代田町議会視察					予算特別委員会
					来庁	松川町議会視察	御代田町議会視察					総務建設常任委員会
					1日	28日	24日	22日				予算特別委員会
					2日	27日	23日	21日				予算特別委員会
					3月	26日	22日	20日				総務建設常任委員会
					ごみ問題特別委員会	松川町議会視察	御代田町議会視察	全員協議会				予算特別委員会
					予算特別委員会	長野県下伊那郡	御代田町議会視察					予算特別委員会
					総務建設常任委員会	松川町議会視察	御代田町議会視察					総務建設常任委員会
					教育民生常任委員会	松川町議会視察	御代田町議会視察					予算特別委員会
					議会運営委員会	松川町議会視察	御代田町議会視察					予算特別委員会
					本会議(定例会)	松川町議会視察	御代田町議会視察					本会議(定例会)
					本会議(定例会)	松川町議会視察	御代田町議会視察					本会議(定例会)

結 果

議員氏名（議席順） 議案・意見・陳情等		鈴木 道子	近藤 昇一	窪田 美樹	守屋 亘弘	田中 孝男	中村 文彦	荒井 直彦	笠原 俊一	土佐 洋子	長塚 かおる	横山 すみ子	金崎 ひさ	待寺 真司	畑中 由喜子	結 果
議案	葉山町手数料条例の一部を改正する 条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可 決
議案	葉山町火災予防条例の一部を改正する 条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可 決
議案	葉山町子育て支援事業基金条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可 決
議案	葉山町附属機関の設置に関する条例 の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可 決
議案	葉山町社会教育条例の一部を改正する 条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可 決
議案	町道の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可 決
議案	附帯控訴の提起について	○ 討論	○ 討論	○	○ 討論	○	× 討論	○	×	○ 討論	○ 討論	×	× 討論	○ 討論	－	可 決
議案	葉山町議会会議規則の一部を改正する 規則 （委員会提案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可 決
	農業委員会委員の推薦について	○	○	○	○	○	○	除 斥	○	○	○	○	○	○	－	決 定
議案	平成23年度葉山町一般会計補正予算 （第8号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可 決
意見	消費税増税に反対する意見書 （議員提案）	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可 決
陳情	公的年金の改悪に反対する意見書提出 を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	趣旨了承
陳情	附帯控訴を取りやめて横須賀・三浦 両市と和解し近隣自治体との協力を 基本とした行政の実現を求める陳情 書	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	みなし 不採択

◎は提案者 ○は賛成 ×は反対

※議長に表決権はありませんが、可否同数のときのみ議長が決します。

※「除斥」とは、審議の公正を期すために利害関係を有する議員は、当該事件の審議に参加することができないとする制度です。

※「みなし(不)採択」とは、既に陳情と同一趣旨の議案が議決された場合に当該陳情について、議決することなく既になされた同一趣旨の議案等の議決の結果により、「(不)採択」とみなして処理することです。

表 決

〔平成24年第1回定例会〕

[illegible]

委員会レポート

委員長の提出原稿を基に編集しています

総務建設

町道の廃止について

本議案は、一色字三ヶ岡地区内の町道409号線、延長195メートルが、現況道路としての機能はなく、一般の用に供する必要もないため廃止するというものです。

審査では、「道路台帳に記載されているのか」

「払い下げはできないのか」「近隣地権者の意向は確認しているのか」等の質疑があり、「交付税等の算定には影響がない」「町に所有権がないので払い下げはできない」「承諾を得ている」との答弁がありました。

採決の結果、全会一致により可決すべきものと決しました。

審査は、参考人として町訴訟代理人である工藤昇弁護士を招致し、また町長、担当部課長等の出席を求め行いました。

参考人の意見陳述・質疑応答、町長との質疑応答のあと、合意形成に向けて委員間相互の活発な議論を行いました。合意には至りませんでした。

附帯控訴の提起について

本議案は、横須賀市及び三浦市が第1審判決を不服として控訴したこと

から、本町の主張を尽くすため、次の2点について附帯控訴しようとするものです。

①葉山町が離脱した時点において、ごみ処理施設や稼動時期、一部事務組合の設置時期等、様々な不確定要素があったにもかかわらず、こうした段階で法的拘束力のある合意が成立しているとするのは不合理である。

②最終的には住民の民意を尊重した判断を行わなければならないという、自治体間の政策協議の特殊性を考慮しておらず、この判決が確定して先例となってしまうと、今後の自治体間政策協議に萎縮効果を及ぼすことになつてしまう点で、大きな問題がある。

〈反対意見〉

*町長は近隣市との連携を推進するといいつながら、話し合いによる解決に向けた努力をしていない。町は争う気持ちはないということを示すため附帯控訴はすべきではない。

*1審と同じ弁護士で附帯控訴することが妥当なのか疑問を持っている。参考人の意見が正しいのか判断できない。町にとつてよい方向を目指している中で、拙速に結論を出すべきではない。

〈賛成意見〉

*町民のメリットを考えると、いつまでも裁判を続けているべきではない。自分の調査した範囲では、町民は誰一人附帯控訴に賛成はなく、話し合いで解決を求めている。

*両市に控訴を取り下げてもらうことが、最善の方法である。そのための努力を町長にしてもらいたいのであって、努力しないまま附帯控訴議案を提出すべきではない。



東京高等裁判所

要である。裁判の過程で政治家としての判断が必要となるかもしれないが、1回も口頭弁論が開かれていない段階で、政治家としての判断をすべきではない。

*応訴では仮に勝訴でも控訴の却下しかないので、町の主張を尽くすためには附帯控訴すべきである。

*昨年12月の臨時会で控訴議案を否決したことで、1審判決に従って早く解決すべきであるという議会の意思は両市に伝わっていると思う。裁判の過程で政治家として色々なルートを使って解決の糸口を見出さなければなら

要である。裁判の過程で政治家としての判断が必要となるかもしれないが、1回も口頭弁論が開かれていない段階で、政治家としての判断をすべきではない。

*訴訟代理人が不適切であるならば、具体的な代案を示すべきである。

*1億数千万円の支払いを求められている裁判である。最終的には町民に負担を強いることになるので、議会としてはできるだけ最小限に抑えるための条件整備をしておくべきである。

以上のような議論を経て、採決の結果、賛成多数により可決すべきものと決しました。

委員長 鈴木 道子

教育民生

葉山町暴力団排除条例

暴力団排除に関する施策の総合的な推進を図り、安全で安心して暮らすことができる社会を実現するため、暴力団排除について基本理念等を定めるとともに、暴力団排除を推進するために必要な事項を定めるため、新たに制定するものです。

審査では、各委員から「暴力団の排除に係る基本的理念等を定め、町民が安心して安全に暮らせるように、関係機関等からの協力を得て、葉山町としても積極的に施策の推進を図るべきである」との意見が大勢を占め、全会一致により可決すべきものと決しました。

葉山町介護保険条例の一部を改正する条例

平成24年度から第5期事業運営期間が始まることに伴い、第1号被保険者の保険料率を改正すること、保険料率区分を細分化すること、その他所要の改正を行うために提案されたものです。

主な改正点として、基準保険料額を現行の4万8720円から5万5920円として、各段階の保険料率を改正すること。現行の9段階から11段階に設定することです。

審査では、各委員から「他自治体に比べ低所得者層の保険料軽減が不十分であり、さらに細かい保険料率区分の設定をするなど、負担軽減策を考慮すべきだ」とする否決を求める意見と、「第5期

保険料を本案より低く抑えると、第6期以降の保険料の急激な上昇を招く可能性があり、将来のことを考慮すればやむを得ない」との意見がありました。

採決の結果、賛成多数により、可決すべきものと決しました。

公的年金の改悪に反対する意見書提出を求める陳情

政府は「社会保障と税の一体改革」の中で、年金生活者の生活に係る多くのことを改悪しようとしており、特に年金の「特例水準解消、2.5%削減」は、様々な理由により絶対に容認できないので、地方自治法第99条に基づき、国に対して意見書を提出するよう求めるものです。

審査では、委員から「年金生活者の負担が増加している現状を配慮し、採択して意見書を提出すべきである」との意見が出されました。

協議の結果、全会一致により趣旨了承すべきものと決しました。

委員長 待寺 真司

議会運営

「議会改革」に関する5項目について、『議会だより106号（平成23年12月1日発行）』で、すでにお知らせしています

が、特にその中の項目3「災害時の議会及び議員の体制・対応マニュアルの策定」に関しては、新たに4人のメンバーによる、ワーキンググループを組織しました。

座長には荒井直彦委員を、メンバーには、近藤昇一、田中孝男、横山すみ子委員を選出しました。

今後は、ワーキンググループを中心として、対応マニュアルなどのたたき台を検討・制作することとし、早速、協議を進めているところです。

委員長 守屋 亘弘

ごみ問題特別

所管事務調査

1月31日 新町長のごみ処理施策の変更について。

*町長所信表明中の「4年間で平成22年度比30%の減量」についての数字の根拠・4年間のロードマップ、ごみ処理基本計画の改訂予定について。

化・減量化については、半減袋は使用せず、戸別収集、資源ステーション方式で行なう。

戸別収集の計画については、クリーンセンターの現業職員を中心に、3月中にまとめてもらうとの説明があり、活発な質疑となりました。

4年間で30%ごみ減量の数字の根拠についての資料請求をしました。

また各委員から、ごみ処理基本計画の改訂の必要性が指摘されました。

*焼却炉廃炉までの予定について。

廃炉の方針は決定したが、さまざまな問題の整理が必要との説明がありました。

委員から、ダイオキシン問題の対応は終了していないとの指摘がありました。

担当部課長から、焼却炉については、将来の方針が明確なごみ処理基本計画の作成が必要との説明がありました。

3月1日 町長の出席を求め、次の事項について質疑を行ないました。

*半減袋について。

町長から、ごみの資源

委員長 横山すみ子





質問 いっぱい

質問者の提出原稿を基に編集しています

窪田美樹

**マニフェストにある中学校給食実現は
町長 教委の検討結果をもって実現をしたい**



現に向けて共に努力する。

問 実施までの期限は。

町長 教育委員会には、検査が年3回では少ない。

教育部長 余り過剰に反

め行動を起こせる検討と

実現を目指してほしい。

教育長 検討委員会にP

TAの方も含め、一兩年

中に答申をもらい、それ

問 中学校給食の必要性について町長の考えは。

町長 教育委員会も民意は承知しているので、実

田中孝男

**マニフェストは錦の御旗でも印籠でもないと思うが
町長 何としてもマニフェストだからとは表現しない**



した約束であり町民が全

部に丸をつけて貴方に投

票したのではない。前町

長はマニフェストにある

籠のような使われ方をす

からと議会意思と関係な

るのとは拙いと思う。マニ

フェストにあるから良い

しに2市1町から離脱し

裁判沙汰になり、今、最

のどとするのではなく、

も頭の痛い状況を作った。

判決文の中で裁判官も

「町長による政策変更が

問 マニフェストとはどのように認識しているか。

町長 私が町長として任

期中に実現すべき町民と

の約束事と認識している。

問 これは町長が町民に

と云えるのかは疑問があ

る

町長 何としてもマニ

フェストだからと言う表

現

問 人件費が町民税で賄

えなくなり一般会計の

33%にもなってきた

町長 私の発意で行うこ

とはしないと約束した。

問 近隣より遅れている

紙おむつ支給事業拡大は。

町長 重要な福祉の要素

となる部分だ。

問 国県補助金もあるが。

保健福祉部長 介護予防

事業の拡大を基本に検討

の必要性はある。

問 地域包括支援セン

ターが分かりにくい場所

にある。場所の移動は。

保健福祉部長 考えない。

問 介護度を上げない取

り組みとして健診は重要

では。受診率を上げるた

め福祉バス等の考えは。

町長 地域の足も含めて、

改めて議論、検討を図る。

問 現状で、2年前に組合か

ら森前町長に逆提案され

た削減案を呑めば達成で

きてしまうマニフェスト

の年間5千万円で、それ

以上は4年間の任期の間

では人件費に手をつけな

いと組合に約束したのか。

町長 私の発意で行うこ

とはしないと約束した。



社会福祉協議会内にある包括支援センター

金崎ひさ

人件費の削減は 町長 4年間で2億円



はゼロにすべきだ。

町長 しつかりと考える。

問 資源化のため19の資源物回収協力団体もモデル地区と同様に扱うべき。

町長 統一は必要だ。

問 町長給料削減を今議会で示すべきであった。

町長 20%削減を6月議会で上程。

問 ごみの休日収集廃止で数千万円が削減できる。

生活環境部長 住民の意見を伺いながら検討する。

問 ごみ減量のため、町関連施設から出る生ごみ



必要か、休日収集

町長 応援団体の1つ。

問 「特定団体等から独立し一切のしがらみが無い立場を保持」とマニフェストに書かれているが。

町長 すでに会は解散。

問 そのマニフェストを町政運営の要にするのか。

町長 私が実現したいことを冊子にまとめた。

問 製作費用は。

町長 発行元で賄った。

問 「献金を受けず」という信条に反するのでは。

町長 様々な方に応援いただいているという認識。

問 公共下水道の事業認可を391haに拡大したが。

町長 そのうちの350haを一つの目途とし、休止。

問 水環境の整備は公共下水道のテンポを下げながら、そのお金を合併浄化槽に回すということか。

町長 そう考えている。

長塚かおる

ごみの戸別収集など町内会との連携について 町長 行政内も統一して強化したい



の困難な方の収集支援 第一に学校長と協議してで、現在16世帯が利用。

問 資源化・減量化の促進について。

町長 資源となるものを出しやすい環境をつくり、取り組みが正当に評価される仕組みが重要。

問 子供たちが快適に勉強できる環境づくりについて。

教育長 小学校では、米作りの体験学習や、葉山の海をテーマにした環境学習、地域の環境学習、地域の方と昔遊びや戦争体験談など地域や郷土に根差した学習を展開。中学校では、まちづくり協会や商店の協力で、総合学習や職場体験を実施。また、学校施設整備は、安全・安心を

問 生ごみ処理機への補助制度が、当町は手厚いと思うが、利用数は。

生活環境部長 昨年度の販売は400件ほどで、うち約310件が、2種類のキエ

問 「ふれあい収集」について。

保健福祉部長 ごみ出し



午ヶ谷戸町内会の資源ステーション

近藤昇一

ダイオキシン放流問題の責任は

町長 可能な限り対応を図る



調査は重要だ。確認できる可能な限り対応を図る。

問 葉山町ごみ処理基本計画は、3点セットの戸別収集、資源化袋、資源ステーションを前提としてごみ焼却量を平成25年度迄に50%削減する計画となっていたが、議会は資源化袋を無駄遣いとして否決し、減量化も進んでいない。新町長は、戸別収集、資源ステーションのセットで同じ減量目標を掲げているが、根拠

町長 葉山町は全てのごみを町外で処理している。部分的にでも自己完結型を目指すべきだが。

問 ごみ焼却炉の排水から基準値を超すダイオキシンが検出された。平成14年に行われたダイオキシン対策工事で各処理水は排出しない方式に変更したが、無断で外に放流したことが要因だ。当時の責任問題は。

町長 再発防止策で把握、

町長 補強工事費の補助を含めた必要な見直しを視野に入れていく。

ている。

問 逗子駅―南郷中学校間のバス路線の始発、終バスなどの増便についてどう対応するのか。

町長 今後も京急バスにお願いしていきたい。



休止中の焼却炉

土佐洋子

災害の想定を超えた想定については

町長 マニフェストの実現に向けて努力



重要。具体的な採用の条件について今後示したい。

問 町のホームページの改善、フェイスブック等への全面的な変更は。

町長 ソーシャルネットワークについては、まず防災の観点から取り組む。

問 町長・町議会議員選挙で選挙公報をインターネットで公開できないか。

町長 国の見解等踏まえ町として考えたい。

問 南北4キロの海岸を有する町で塩害のため沿

努めているところ。

問 平成23年6月議会では一般質問したソーラー発電街路灯と信号機の設置について進捗状況は。

都市経済部長 原材料を23年度の予算で購入し、24年度の早い時期に職員で設置していきたい。

町長 副町長の公募は、条件設定が非常に



那須町のソーラー発電街路灯



議場の副町長席

中村文彦

副町長選任について無責任な発言をすべきでない

町長 中村議員には、申し訳ない



問 副町長について、前森町長の一般質問でも行っていたが、結局、実現しな

まま落選した。町民より「やる・やる詐欺」だ公募の要件を定め、時間

と陰口をささやかれる行為によって、町民も議会も怒った結果だ。神奈川新聞等の取材に対し、4月までには一般公募で決

問 人件費は増えるということか。

町長 もちろん人件費については増える。ただ、

4月1日の人事と申し上げたいのが、副町長という自治法に定めら

れたい人件要件だけではなく、危機管理に関する人

募集をし、評定材か、組織的に必要な人材が副町長という形式も、

問 財政が厳しい中ということであるから、補

正予算は組むべきだ。**町長** 補正予算ということは考

えていない。**問** それは副町長を置かないとい

うことか。**総務部長** 給与の関係で、副町

の機会に大変心苦しい思いをさせて申し訳ない。

町長 中村議員には説明

の機会に大変心苦しい思いをさせて申し訳ない。

の機会に大変心苦しい思いをさせて申し訳ない。

鈴木道子

防災の視点から「HUG」や「ROG」の導入について

町長 最適な訓練になるよう研究していく



問 「避難所運営ゲーム」や「災害図上訓練」の導入を提案するがどうか。

町長 研究をしていく。

問 防災会議委員に女性の参入を定めるべきだが。

町長 大変貴重な指摘だ。今後実際に形にしてい

問 海抜表示と避難路表示は目立つものにすべき。

総務部長 担当課とも調整し、検討していく。

問 消防団安全対策設備整備費補助金の補助につ

いての対応を伺う。

消防長 昨年6月補正で団員安全のため、早急に救命胴衣等を整備した。

その後の補助金であり、適用はされなかった。

問 残念だったが、早急



な対応をしたことは評価する。公園遊具は他自治体にも多い健康遊具やベンチを設置すべきだが。

町長 検討していく。

問 防災広場は複合的な活用をすべきだがどうか。

都市経済部長 今後使用方について検討する。

問 「読書活動推進計画」の未策定は県下33市町村

の中で、葉山と逗子だけが、計画はどうなのか。

教育長 読書活動はきちんと行われている。論議

町長 調査を行っている。

問 PPSについて導入を検討すべきだがどうか。

町長 調査を行っている。

町長 調査を行っている。

町長 調査を行っている。

町長 調査を行っている。

町長 調査を行っている。

荒井直彦

三浦半島中央道(北側)の進捗状況について 町長 早期の事業着手を今後とも要請していく



問 南郷から逗子桜山に抜けるトンネルの進捗状況は。

町長 平成16年12月より神奈川県・逗子市・葉山

問 南郷トンネル交差点の朝夕の渋滞緩和対策は。

町長 右折車線の延長等

町で構成する三浦半島中央道路1期区間連絡調整会を設置し、整備促進に向けて協議を続けており、かながわ道づくり計画では平成28年目標年次としている。

問 今年度の防災訓練の時期と方向性は。

町長 総合防災訓練の日程は9月1日で決定し、内容については、今後細部計画し立案していく。

問 防災訓練の説明会を7月と8月の2回だけでなく、もう一回、増やす事はできないか。

総務部長 説明会の状況等をもう少し分析をして必要であるならば、貴重な指摘と言う事で是非検討させて頂きたい。

問 学校施設改修の補助金を利用したグラウンド整備計画を立案しては。

教育長 補助金事業については、校舎の耐震補強工事等を優先する国の方針が示され、当面の間、国庫補助を受けてグラウンドを改修する事は、難しい。

問 今年度の防災訓練の時期と方向性は。

町長 総合防災訓練の日程は9月1日で決定し、内容については、今後細部計画し立案していく。

問 防災訓練の説明会を7月と8月の2回だけでなく、もう一回、増やす事はできないか。

総務部長 説明会の状況等をもう少し分析をして必要であるならば、貴重な指摘と言う事で是非検討させて頂きたい。



トンネル予定地

道路構造的な対策は困難であり、根本的な渋滞対策は未整備区間の早期整備である。神奈川県市町村の機会をとらえ積極的かつ継続的に神奈川県に要請し、町としても協力する。

横山すみ子

ごみ処理基本計画は早く改定すべき 町長 減量実施計画の状況で検討



問 町長の方針で、ごみ減量の基準年を18年度から22年度に変更し、4年で30%の減量へ。またごみ焼却炉の廃炉決定は、大きな条件の変更であり、ごみ処理基本計画を早期に見直すべきである。

町長 4年間で30%のごみ減量のための実施計画を、クリーンセンター現場職員を中心に策定中で、6月に議会に示したい。

問 ごみ問題の裁判控訴は、近隣自治体との関係改善の障害だ。附帯控訴議案は取り下げでは。

町長 司法の手続中だが、

問 節電の取り組みや電力契約入札制度の研究は。

町長 LED化、デマンドも研究。電力入札なども研究中である。

問 町長選挙において、冊子型のマニフェスト配布は公職選挙法違反では。

町長 選挙の期間の前に知った。

問 自分でも配ったのか。

町長 選挙後に余りの有無を聞かれ職員に渡した。



廃炉が決まったごみ焼却炉

守屋 亘弘

人事評価制度等の導入は

町長 調査研究を進める



問 先の町長選での「山梨たかひと、マニフェスト」の中で、人事評価制度の導入とあり、かつての議員時代にも当制度や報奨制度を提案しているが、その実現について。



イトーピア葉山地区污水处理施設跡

町長 人事評価制度は、必要で、職員組合との協議も必要であるので、一以前数回試行したが、それ以降当制度の構築に向けた動きは進んでいない。再度の試行に向け取り組みたい。職員の報奨制度行政課題が複雑・高度化に關しては、地方公務員し、町民本意の良質で効率的な行政サービスを提供するためには、職員一人ひとりが高い能力を備え、かつ適材適所の配置を行うことや勤務結果に応じた適切な処遇を行うことなど勤務意欲を向上させることも、公務能力を向上させる上で必要だ。今後調査研究を進めるが、かなりの事務量があること、加えて評価の訓練や研修が

問 公共下水道、合併処理浄化槽、大型合併処理浄化槽のいずれも対象とする生活排水の種類はし尿及び生活排水だ。水処理業務の担当の環境課の一部と下水道課の統合について。

町長 下水道整備は市街化区域、市街化調整区域には合併浄化槽の導入を推進したい。当該業務の統合等、選択肢のひとつとして検討したい。

待寺 真司

町長直轄の危機管理室設置を

町長 気持ちはよくわかる。方向性は一緒だ



問 広報はやま3月号で示したビジョンや、マニフェストに掲げた政策などを、第4次総合計画としてすぐに体系的にまとめるべきと思うが。

まとめるのがシンプルだ。共助の部分については、自主防災組織の皆様頑張ってもらい、その支援を町が行うべきと考える。

問 想定を超える大規模災害に対し、消防職員・団員の対応について綿密な打ち合わせが必要だ。

消防長 それぞれの災害に瞬時に対応できる能力を養うように、常日頃より伝えている。消防学校での教育や訓練等を通じて能力を培っていく。

問 防災の観点からもライブカメラは必要だ。

町長 その有効性について私も感じている。コスト面や民間の設置カメラが利用できるかなど、検討をす

町長 地域ごとに計画を策定し、それを町が取り

町長 第3次総合計画後期基本計画に、マニフェストを反映するよう動いている。ビジョンについては、たった一度の選挙で訴えてきただけで、すぐに盛り込むのは恐縮だ。

問 地域防災計画の改訂に際し、町内会・自治会単位で、それぞれ起こりうる災害を想定する中で、より綿密な計画を策定して、盛り込んで欲しいが。

町長 地域ごとに計画を策定し、それを町が取り



蓮子葉山消防団合同訓練の様子

春の風景



4月5日 桜満開の中、町立小・中学校の入学式が行われ、小学校4校で262人、中学校2校で263人の新一年生が誕生しました。

小さな背中に大きなランドセルは、新一年生の今しか見られない姿ではないでしょうか。緊張した入学式の後、卒業記念にと残されたビオトープでおたまじやくしや水草を覗き込み新しい仲間との



発見を楽しんでいました。初めて親の手から離れての下校は、先生引率の元、集団で帰ります。



新常任委員長の選任

2月21日、総務建設常任委員会金崎ひさ委員長の辞任に伴い、鈴木道子の香りが委員長に選任されました。

3月6日、欠員になっていた教育民生常任委員会委員長に待寺真司委員が選任されました。

議会の最新情報はホームページに公開しています

<http://www.town.hayama.lg.jp/gikai/>

議員の紹介、議会日程、会議録検索、審議議案一覧、意見書・決議、議会交際費、インターネット中継など

議会交際費支出状況

(平成23年10月～平成24年3月)

平成23年度下期支出総額は191,753円です。内訳は次のとおりです。(詳しくは議会ホームページをご覧ください。)

種 別	件数	金額(円)
慶弔費	5	51,250
会 費	5	33,000
賞品代	1	6,876
寸 志	1	27,576
その他	9	73,051
合 計	21	191,753

4月3日には、葉山でも暴風波浪警報・大雨雷洪水注意報が発令され、警戒態勢が敷かれる事態が起こった。日本海上で急速に発達した低気圧が日本列島に襲い掛かり、全国で死者・重軽傷者が発生する春の惨事となった。自然の猛威が容赦なく、尊い人命を奪っていく。

4月10日に、葉山しおさい公園に打ち合わせのため訪問した。満開の桜の香りが漂う中、手入れの行き届いた庭園を、ゆつくりと散策することができた。まさに春の季節を五感で楽しめた。



当町は、三方を山に囲まれており、大規模自然災害発生時には孤立する恐れが大いにある。自助・共助で乗り切らなくてはならない時間が長くなる懸念を払拭できない。日頃から隣近所での顔の見えるお付き合いや、町内会・自治会での防災訓練などを通じて、地域コミュニティの結束こそが一番大切ではないかと考える。

4月11日記 待寺 真司

平成24年 第2回定例会 は
6月6日(水)
からの予定です。
皆様の傍聴をお待ちしています。

議長 畑中由喜子
議会広報特別委員会

土佐洋子 窪田美樹
中村文彦 長塚かおる
金崎ひさ 待寺真司